

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

## ②施設・事業所情報

名称：もんもん保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：高野 洋奈	定員（利用人数）：70(78)名	
所在地：〒254-0812 平塚市松風町23-54		
TEL：0463-20-8221		
ホームページ： <a href="https://www.monmon-hoikuen.ed.jp/monmon/">https://www.monmon-hoikuen.ed.jp/monmon/</a>		
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：1992年04月01日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 徳栄会		
職員数	常勤職員：16名 非常勤職員：20名	
専門職員	（専門職の名称）：名	
	保育士：25名 幼稚園教諭：19名	
	管理栄養士：1名 看護師：1名	
施設・設備 の概要	（居室数） 居室：0歳児室 居室：1歳児室 居室：2歳児室 居室：3歳児室 居室：4歳児室 居室：5歳児室	（設備等） 設備：厨房 設備：事務室 設備：一時保育室 設備：トイレ兼沐浴室 設備：更衣室・休憩室 設備：エレベーター

## ③理念・基本方針

## &lt;法人理念&gt;

●地域に求められ、共に育ちあい、「もんもんちゃん家(ち)」として親しまれるような総合施設。

●「子どもは国の宝」子どもは一人で育てず、みんなで認めて育ち合い、支え合い、生きることを基本に考えています。

●地域の方々から愛され頼りにされる施設として、もんもんちゃん家に行けば大丈夫と安心してもらえる総合施設を目指し、努力し、日々向上していきます。

## &lt;保育理念&gt;

1. 子どもをはぐくむ主体的な遊びを通して生きる力を培う保育
2. 保育士は愛情豊かに関わりを持ち応答的保育を行う

## &lt;基本方針&gt;

1. 子どもの保護者の協力の下に、家庭療育の補完と、より豊かな質の高い保育を行う。

2. 子どもが健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動できるように健全な心身の発達を図る。
3. 豊かな人間性と自己肯定感を持った子どもを育成する。
4. 乳幼児などの保育に関する相談、要望、意見に応じ、わかりやすく説明し社会的役割を果たす。
5. 子どもが健康で安全に生活できる為に、人権を尊重しプライバシーの保護を遵守する。

<保育目標>

自分のことが好きな子ども ～ 自己肯定感 ～ 生き抜く力の基礎を持てる子ども

1. 自分のことは自分でできる子ども
2. 明るく元気な子ども
3. よく考え行動できる子ども
4. 仲良くできる子ども

④施設・事業所の特徴的な取組

<もんもん保育園の特徴的な取組>

- 利用者の意見は宝物という考え方の下、連絡帳や保護者面談等で気になる事があれば保護者の思いを直接聞くようにしている。また、遠足や行事等はアンケートを取っているが、「その他」の自由記述欄を設け、保護者が意見を言いやすいようにしている。お迎え時には、保護者の表情をよく見て、園に対しての不満の有無や、子育てで悩みがないか等、引継ぎの職員含め気にかけて、必要に応じて直接話を聞ける環境を作っている。
- 子育て支援は「親がもっと子どもを愛せるように応援すること」をモットーに、休業時利用ができる仕組みや、お迎えの前に一呼吸置くことを大切にしている。夜間保育事業をしている為、お迎えが遅いお子さんには18時頃に夕食が提供されるが、昼要件のお子さんでも申し込みをすると当日でも、夕食を提供することができ、子どもと保護者と過ごす時間がゆっくり取れることに保護者の方も喜んでいる。
- 法人の合言葉である「認めて、褒めて、抱きしめて、心に寄り添い、大好きだよぎゅ～」を保育の中で保育士が実践しており、子どもの声をよく聞く保育をしている。また、職員間でも気になるところは注意しあい向上しようとしている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年10月06日（契約日） ～ 2024年04月23日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2018年度）

⑥総評

【もんもん保育園の概要】

- もんもん保育園は、JR平塚駅から扇松海岸通りを歩いて8分程度のところにあります。この通りは、浜辺から平塚八幡神社へ向かう参道で昭和初期には、この道がメインストリートでした。保育園の有る松風町周辺は、平塚の高級住宅街で近くには村井弦斎公園他多くの公園があります。また、お正月の箱根駅伝の平塚花水中継所も近いです。
- もんもん保育園は、昭和51年に個人立の「保育舎もんもん」の設立に始まり、平成4年、社会福祉法人徳栄会（以下、法人という。）に母体を変えました。法人は、地域の要請を受け、午後10時までの夜間保育を行う他に、乳児保育園、病児保育園、小学生児童クラブ、子育て支援サークルを運営する等、地元根差した事業を行っています。

●ももん保育園は、定員70名（在籍78名）、0歳児から5歳児までの保育を行っています。園舎は、鉄骨造3階建てで1階があそび場と厨房、2階に乳児保育室、3階が幼児の保育室になっています。保育サービスの実施状況は、乳幼児保育、産休明け保育、障害児保育、延長保育、夜間保育、一時保育を実施しています。開園時間は、月曜日から土曜日まで午前7時から午後10時までとし、保護者の就業支援が行われています。

◇特長や今後期待される点

#### 1. 【保育の「合言葉」から育まれる自己肯定感】

保育所保育指針に示されているテーマの1つに、育みたい能力・資質の3本柱があります。それは、知識及び技能の基礎、思考力・判断・表現力等の基礎、学びに向かう力・人間性等の3つであり、これらの力は乳幼児期に備わる自己肯定感から養われます。これらの能力を具現化するように、ももん保育園では「認めて、褒めて、抱きしめて、心に寄り添い、大好きだよぎゅ〜」を合言葉（法人）として保育で実践しています。調査当日は、3歳児の体操を見学し、マットでの前転、ブリッジ、ステップ等、上手にできる子できない子にも専門講師、保育士、子どもたちが声援し手をたたいて温かく応援していました。また、0歳児保育のテーマに、「保育士等と愛着関係が持てるよう配慮すること」を掲げ、担当保育士の自己評価のコメントにも、「笑顔で語りかけ、抱きしめ、子どもの思いを言葉に置き換えて接し、安心して過ごせるようにしています」と記載され、1歳、2歳児の保育テーマでは、「まだ養護の比重が大きい時期なので子どもが自分でしようとする気持ちを尊重すること」とし、保育士のコメントは「製作物ができ上がった際に、子どもたちで見せ合い、楽しさや喜びを保育士と友だちと共有する等、子どもの気持ちに寄り添い尊重する保育を行っています」とあります。ももん保育園では、基本方針の1つに掲げている、「豊かな人間性と自己肯定感を持った子どもを育成する」を「合言葉」一つひとつの意味合いに、理性・知識・感情・意志等の働きの基となる心の育み、そして言葉、行動、行為にも温かく支え合えるような保育園を創造しています。

#### 2. 【主体的を身に付ける「わくわくドキドキ活動」】

ももん保育園では、0歳から5歳児までの6クラスが毎月、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」の内の1つの姿の取組として、「わくわくドキドキ活動」を実施しています。この取組は、子ども自身が主体的に考えたり、友だちと考え合いながら、いろいろな観察、様々な体験を通して遊び込み、新たな発見をしていく活動です。例えば、3歳児では、数量や図形、標識や文字等への関心・感覚を養う活動を行います。みかん狩り遠足と併せて、みかんジュース作りを計画し、子どもたちが園長先生に手紙を書きました。保育士が書いた文字を皆で順番になぞりながら作成しました。みかん狩り遠足での楽しい経験と共に、持ち帰ったみかんをジッパー付きのポリ袋に入れてジュースを作りました。皮をむいて入れる子、形を崩して入れる子等、様々な感想を持ちながら完成までの過程の貴重な体験となりました。保育士は、「子ども自身が考えて、失敗を繰り返し実現に向かっていく過程の大切さを経験できるようにして行きたい」とし、豊かな体験の機会を提供しています。

#### 3. 【食育活動の推進】

年齢に応じたねらいと内容で食育計画を作成し活動が進められています。3歳児のねらい（7月）では「『夏野菜の話』夏野菜について興味、関心を深める」とし、園庭で栽培している野菜にまつわるクイズを行い、食べると体にどんな良いことがあるかを説明後、夏野菜ピザを作るクッキング活動を行っています。5歳児のねらい（10月）に、「『旬の話』食べ物には一番おいしく食べられる季節＝旬があることを知る」を、旬の意味に

ついてイラストを用いて説明し、四季での旬の食材をグループ分けして学び、その季節のお芋クッキングを体験しました。また、4歳、5歳児は三色食品群食育活動を行い、今日の調理を見学して、そのメニューの食材を三色食品群にグループ分けしたり、調理体験で素材が調理されていく変化を楽しみ、自分で作った喜びを経験し食への興味をつなげています。子どもたちは、おいしく調理される食事と職員の熱意ある保育の下、主体性を持って未来を生き抜く力を育てています。

#### 4. 【もんもん保育園としての中・長期計画と単年度計画の策定について】

もんもん保育園では、中・長期計画は法人内で話し合い方向性を決めています。その計画は、保育施設を踏まえた社会・地域の役割を知り、貢献できるように考えた法人としての計画となっています。この計画の他に、保育園としての中・長期的視点で取り組むべき経営課題があります。「保育時間内での事務時間の確保」、「職員の休憩、打ち合わせ、保護者への連絡、保育の準備等の時間の確保」、「人件費の支出、労務管理での苦慮」、「諸事情における日々の職員の出欠管理」、「要配慮児への職員配置」等について、法人の中・長期計画の中からもんもん保育園に関わる項目を抜き出し、もんもん保育園としての中・長期計画な視野で取り組むべき経営課題を上記の計画と合わせた形とし、中・長期計画を策定することが望まれます。単年度計画については、①保育園の中・長期計画に沿って単年度の計画を策定したもの、②全体的な計画以下の指導計画、③行事計画、の三種類の単年度計画になります。もんもん保育園では、指導計画及び行事計画について単年度の計画を策定しており、今後は、もんもん保育園の中・長期計画に沿っての単年度計画の策定を期待いたします。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名 もんもん保育園

《第三者評価を受審した感想・自己評価での取組の感想》

・一つ一つ組織を見直す良い機会となりました。長所・短所を再認識し、次への課題が明確になりました。

・評価者の方に理解してもらうことの難しさも同時に感じました。様々な園があり、特徴をキャッチして良い評価をしたいとさせていただいていることは良く伝わりましたが、そもそも目に見える保育内容だけではない、保育の質を理解してもらおうとしても、なかなか伝わらない感じもありました。保育の魅力、奥深さ、意義、現状等を相手に伝える方法を私自身、今後どのように伝えていくのが良いのか、勉強になりました。

《評価後取組んだ事として》

1. 保護者のご意見のもと、引継ぎ方法・内容等、改善中です。
2. 職員の意識向上

#### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり